

- ❖ **「JGAP Basic」**: 現行のJGAP基準書の後継であり、近年国際的にも重視されてきている人権の尊重などの新しい要素も加えた、日本の標準的なGAPとして必要十分な内容
- ❖ **「JGAP Advance」**: 「GFSIガイダンスドキュメント」レベルのより詳細な食の安全に関するリスク管理等の追加要求にも対応
- ❖ **共通事項**
 - 農林水産省「農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン」への準拠
 - 人権・労務管理に関する管理点、生産性向上に資する管理点など、世界的にも先進的な内容を導入
 - 農業及び環境の持続可能性を高めるものであること

- ❖ JGAP Basicの基準書には、JGAP Advance専用項目が付属しており、これに追加して取り組めば、JGAP Advanceへの移行が容易に可能
- ❖ JGAP Basicは、JGAP認証農場が取り組みやすい、現行JGAP 2010/2012の水準を基本としているが、人権・労務管理、生産性、環境保全等、JGAPを特徴づける管理点は、JGAP Basicにも十分なものを導入
- ❖ 必須・重要・努力のレベル分けは両者とも共通
- ❖ 青果物・穀物・茶を通じた共通の管理点とすることを基本とし、それ以外の場合は、取組例・備考での説明や、必要に応じて専用項目を設定

➤ 2016年5月31日：新基準書「JGAP 2016」公表

今後は、新基準書の普及のための研修資料の作成、審査・認証の開始に向けた認定機関及び審査・認証機関との調整、新基準書の英訳及びGFSI事務局との調整等に着手

➤ 当面の日程は次の通り

- 2016年6月末：JGAP2010/2012から2016への変更点を解説する研修の開始
- 2016年7月末：新たな基準書に準拠したJGAP基礎研修の開始
- 2016年9月1日：新たな基準書による審査の開始

※ 現行のJGAP2010/2012による審査も2017年8月31日まで並行して受付

(以上)